

平成 30 年度 研究成果報告書  
Research Achievement Report FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語日本文化教育センター 講師
氏名 Name	高井 美穂
専門分野 Academic Field	日本語教育学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	日本語母語話者の友人同士の雑談における意見・考えのやりとりの研究
<p>前年度に続き、進路や結婚、経済的豊かさといった「ライフプランをめぐる価値観を述べ合う行為」を主な研究対象とし、会話分析の手法を用いて連鎖分析及び成員カテゴリー化分析を行った。</p> <p>まずは、前年度に得られた示唆をもとに分析をさらに進め、①一人称の使用、②話し手と聞き手に共通するカテゴリーを観察可能にする仕組み、③異なる価値観に理由が必要とされていること、の3点から、価値観のやりとりが共-成員性を指向したやりとりであることを明らかにした。これについては、タイ国日本研究国際シンポジウム 2018 にて『価値観が異なること』を通して可視化される共-成員性—日本語母語話者の友人間の雑談におけるライフプランをめぐる価値観のやりとりの会話分析—というテーマで口頭発表を行い、同シンポジウム論文集に投稿した。また、上記③の理由語りが期待される位置における経験の語りを成員カテゴリー化装置の観点から分析し、その成果を第 34 回日本語日本文化教育研究会にて「日本語を母語とする大学生の雑談における価値観の相違—例外として語られる経験と共-成員性への指向」というテーマで発表した。</p> <p>その他、好みの変化の打ち明けに繰り返し観察された「最近」という語に着目し、それが「好みが変わったならば、親しい友人にはそれが報告できる最初の機会に報告するべきである」という規範に基づくものであることを明らかにした。これについては、第 3 回ハノイ大学国際シンポジウムにて「友人間の雑談における好みの変化を報告する行為にみられる日本語母語話者の規範」というテーマで口頭発表を行い、論文集『グローバル化時代における日本語教育と日本研究』に投稿した。</p> <p>出版予定の中上級会話教材（共著）については、各課、及び教師・学習者に対する前書きの原稿をそろえ、出版社に提出した。現在、語彙リストの整理に取り組んでいるところである。これらの実践については来年度中に発表を予定している。</p>	